

## 長い距離を旅行した人たち

### 兼高かおる 総移動距離 721万 km

八柳 修之



兼高かおるの TBS TV 番組「世界の旅」、一度はご覧になったことがあるでしょう。アラウンド・ザ・ワールドの音楽をバックに PAN アメリカン航空のジャンボ機の映像。美人で上品な語り口で魅了、1959 年（昭和 34）～1990 年（昭和 45 年）までの 11 年間、楽しませてくれました。彼女がこの番組に出演するきっかけとなったのは、1958 年（昭和 33 年）スカンジナビア航空の世界早回りに挑戦し 73 時間 9 分 34 秒で優勝したことであった。海外旅行が自由化されたのは 1964 年（昭和 39 年）、「トリスを飲んでハワイへ行こう」の CM。せいぜい行けるのはハワイくらいのもの、しかも小金持ち、世界の国々への旅行は憧れ、夢の世界であった。



番組スタート以来、兼高はレポーター、ナレーター、プロデューサーとして 11 年間、訪れた国 150 以上。1971 年には南極点到達した初の一般人であった。総移動距離はなんと約 721 万 km。地球 180 周分にもなる。月までの距離は 384 千km、月との間を 10 往復弱した計算になる。パンナムの経営が傾くとともに番組も消えていった。兼高はその後、横浜の人形の家（人形の家）の館長などをつとめた。現在は石坂浩二が館長。2019 年、90 才で没した。生涯独身であった。（Wikipedia）

2016 年、196 カ国訪問を達成した女性がいる。レクシー・アルフォードさん（アメリカ・21 才、カルフォルニア州で旅行会社を経営）である、最も困難であった入国は北朝鮮であったという。外務省は世界の国数、2021 年 4 月、世界の国数は 196 カ国（北朝鮮を含まず）と発表している。（Wikipedia）

## 22 年間 世界旅行 36 万 km

### アルゼンチン エルマン・サップ一家

世界 102 カ国、五大大陸を 22 年間かけて旅したアルゼンチンの一家が、3 月 13 日に帰国し、ブエノスアイレスで多くの市民の出迎え、歓迎したというニュースが、18 日のテレビ朝日の大下容子の報道番組であった。



この快挙を成し遂げたのは、エルマン・サップさん（53 才）と妻のカンデラリアさん（51 才）である。二人は 2001 年になんと 1928 年製の米国車グラハム・ページという車に乗って旅行をスタートした。最初はアラスカまで行く予定であったが、旅程は延び続け、約 36 万 km、地球 9 周分を旅行した。日本にも関西に立ち寄っている。驚くべきことは、22 年間の旅行中 4 人もの子供に恵まれたことであった。上の子は 19 才になった。サップさんは「二つの夢、子供に恵まれたこと、世界を知ることが出来た

事を神様に感謝したいと」述べた。「アフリカではマラリアに罹ったが、出会った人々に助けられ、お宿してくれた人（約 2000）、食事に招いてくれた人々に対し感謝したい」。カンデラリアさんは「すべてが想像を超えて美しかった。私たちが発見したのは人間の素晴らしさだった」と語った。気になるのは旅の費用と子供の教育であるが、「費用は旅行記の出版により捻出したこと、子供の教育については、学校では学べないものを多く学んだと思う。通信教育を受けさせるなどしていた」と語っていた。（記事・写真提供：荒尾保一 写真：サンパウロ時事）。